

日本・欧州のプラスチック容器包装リサイクル 現状および最新動向

講師：藤井均氏（藤井包装技術事務所 所長）

有用な枯渇資源を次世代に繋ぐことを目指し、資源循環戦略による循環型社会を促進するため、日本では「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が2022年4月1日に施行され、欧州では、サーキュラーエコノミー政策の一環である「包装及び包装廃棄物規則案」が2022年11月3日に公表された。

本セミナーでは、日欧のプラスチック容器包装を主体としたプラスチックリサイクルの現状及び日本の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」及び欧州の「包装及び包装廃棄物規則案」について説明する。

日本のプラスチックリサイクルについて、プラスチック容器包装リサイクルの現状及び課題（リサイクル率向上、リサイクル製品の品質向上、需要拡大、リサイクルコスト削減等）の対応について説明し、プラスチック資源循環政策として、リデュース、リサイクル、再生利用・バイオマスプラスチックのマイルストーン（標準値）と、この戦略の具体的施策について述べる。

欧州のプラスチックリサイクルでは、欧州政策（サーキュラーエコノミー）、欧州のプラスチック戦略、及び包装廃棄物指令・規則案を説明する。規則案では、プラスチック容器包装のリサイクル率目標、新たに加えられたプラスチックリサイクル材の容器中の比率目標、削減目標、リユース目標について述べます。プラスチック容器包装リサイクルの現状としては、リカバリー率リサイクル率推移、廃棄物発生量、リサイクル手法、容器包装リサイクル制度について説明する。

【講師経歴】2014年6月まで大日本印刷株式会社にて包装材料の開発、包装設計に従事。2016年6月まで、容器包装に関する業界団体に所属、2016年7月より藤井包装技術事務所を開設。【著書】機能性・環境対応型包装材料の新技術、抗菌抗カビ技術と応用、欧米の食品用容器包装法規制の動向、包装材料における環境対応、環境配慮型容器包装の開発動向、EUにおける容器包装規制 等

開催日時	2023年8月8日（火）13:30~16:30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。 ★受講中の録音・撮影等は固くお断りいたします。
受講料	49,500円（税込） ※資料付 * メルマガ登録者 44,000円（税込） * アカデミック価格 26,400円（税込）	

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。
★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員メルマガ会員登録をいただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。★【セミナー対象者】・容器包装メーカー・樹脂メーカー・化学メーカー・装置メーカー（食品加工、プリンター等）等 ★【得られる知識】・循環型社会、持続可能な社会意義・プラ容器包装リサイクル状況 リサイクル技術 リサイクル製品・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律・欧州包装廃棄物規則・欧州プラスチックリサイクルの現状

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

I 日本のプラスチック容器包装リサイクル現状および最新動向

- 循環型社会とは
 - 定義・循環型社会形成の推進に関する法体系
- プラスチック容器包装のリサイクル
 - プラスチックマテリアルフロー
 - プラスチック容器包装リサイクル現状
 - 容器包装リサイクル制度の仕組み・容器包装の回収、製品化
 - プラスチックリサイクル技術・リサイクル製品
 - 材料リサイクル・ケミカルリサイクル
- プラスチック容器包装リサイクル制度の課題・対応
- プラスチック資源循環戦略
 - 基本原則（3R + Renewable）・今後の戦略展開（マイルストーン）
- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律
 - プラスチック使用製品設計指針・特定プラスチック使用製品の使用の合理化
 - 市町村の分別収集及び再商品化・製造事業者等による自主回収及び再資源化

- 排出事業者による排出の抑制及び再資源化等
- プラスチック循環促進法に基づく実施状況
 - 先行事例及び実証開発事業
 - プラスチック循環促進法に基づく分別収集及び再商品化計画状況

II 欧州のプラスチック容器包装リサイクル現状および最新動向

- EU「サーキュラー・エコノミー・パッケージ」
- 包装及び包装廃棄物指令
- 包装及び包装廃棄物規則案（2022年11月30日）
 - 提案理由・目的
 - リサイクル可能なパッケージ
 - リサイクル目標
 - リサイクル材の容器中の使用率目標
 - 包装の削減目標・リユース・リフィル目標
- 欧州プラスチック容器包装リサイクルの現状
 - 欧州プラスチック生産・容器包装需要
 - 容器包装リサイクル率 欧州平均及び各国
 - リサイクル方法内訳

弊社記入欄		ウェビナー申込書			
セミナー名	日本・欧州のプラスチック容器包装リサイクル現状および最新動向（8/8）				
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓	会社名（団体名）	TEL :		TEL :	
	住所 〒	FAX :		FAX :	
		E-mail :		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職	氏名	
お支払方法		銀行振込 ・ その他		お支払予定	2023年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。
■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません。ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。
■申込先：㈱シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL:03-3293-7053
■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <https://cmcre.com/>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

2023年8月8日開催

日本・欧州のプラスチック容器包装リサイクル 現状および最新動向

講師：藤井均氏（藤井包装技術事務所 所長）

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声がかかる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。